

団体名	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
問合せ先	055-983-0136 / info@gwmishima.jp
タイトル	地域協働で「水の都・三島」の環境資源を再生・「水と緑のネットワーク」創造事業

1 取り組み概要

○事業の背景・目的

静岡県三島市は富士山からの湧水が街中を毛細血管のように流れる「水の都」でしたが、1960年以降、湧水が減少し、川は汚れゴミが捨てられ、ドブ川になりました。

そこで、グラウンドワーク三島が発足し、市民・NPO・行政・企業が連携する「地域協働」の仕組みを創り上げ、傷付き未利用の環境資源を市民力で再生することにより「水と緑のネットワーク」を創造して、街中に賑いを取り戻すことが目的です。

○事業の概要

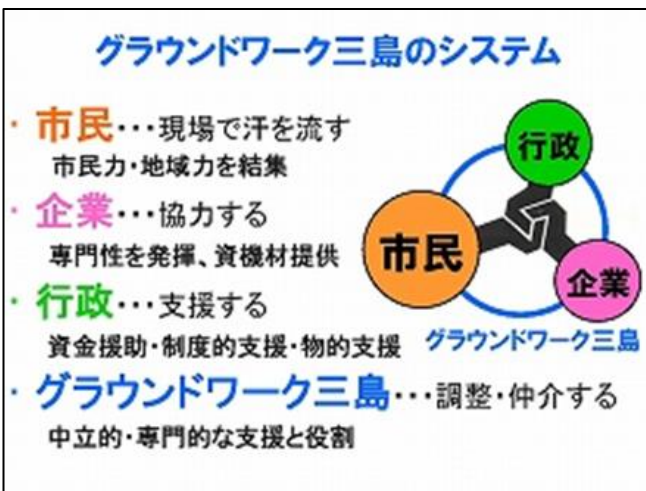
汚れた「源兵衛川」を3年間で100回以上のゴミ拾いを行いホタルが乱舞して子どもたちの川遊びの歓声が響く清流に蘇らせた水辺再生、市内から姿を消した水中花・三島梅花藻の復活、絶滅危惧種ホトケドジョウやゲンジボタルの生息拡大、狩野川に現存する貴重な旧河川敷「松毛川」の河畔林の森づくりとトラスト運動による買収、富士山からの湧水池と谷地田を保全した「境川・清住緑地」湧水公園の整備、歴史的な井戸・お不動さん・水神さんの復活など市内70箇所に実践地を造成してきました。

環境出前講座や自然観察会の開校、環境インストラクターの人材育成、イギリスやネパール・台湾との国際交流、災害支援など多彩な市民活動にも取り組んでいます。

○事業の社会的意義

環境資源を再生する「環境再生」、地域と街中の賑わいを創る「地域再生」、耕作放棄地を有効利用する「農業再生」、街中の活性化と高齢者の雇用確保と生きがいを創る「環境コミュニティビジネス」の展開など、多分野から街中の活性化に取り組んできました。結果、活動への参加者は毎年1万人以上、視察者は1,500人、観光入込数はこの27年で4倍の720万人に増加し中心商店街には、空き店舗がほとんど無くなりました。地域協働による「市民公協事業」が、環境資源を再生した地域固有の潤いのある幸せな生活環境と地域発展に貢献した「社会モデル」を構築しました。

2 参考図表



地域協働で清流に再生



**地域の恥に成り下がった
汚れていた頃の源兵衛川
(1960年～1989年)**



**地域協働で清流を
取り戻した源兵衛川**



絶滅危惧種・ミシマバイカモを復活



清流のパロメーター

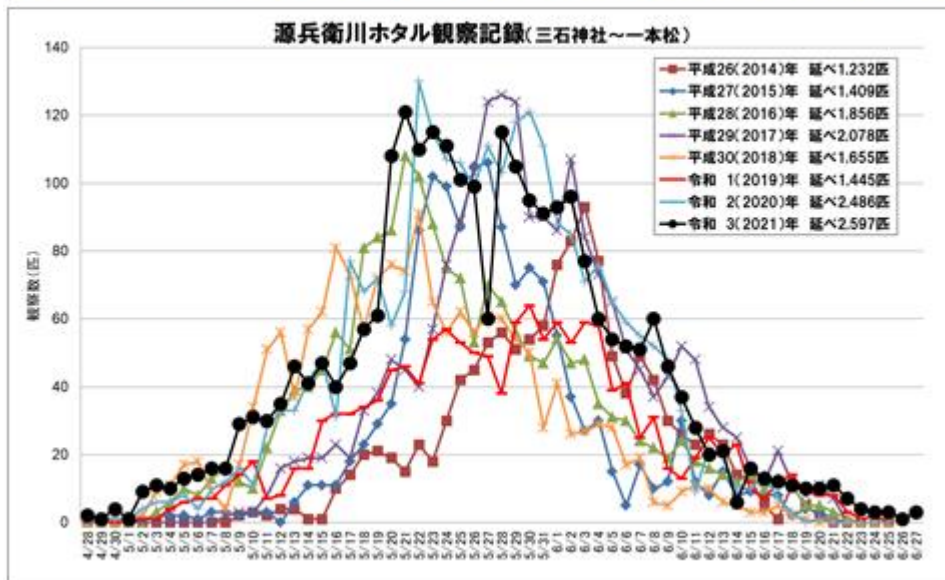
ミシマバイカモ

(静岡県レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類)

源兵衛川・ミシマバイカモ群生地
増殖させたミシマバイカモを移植



源兵衛川のゲンジボタル観察数(平成26~令和3年)



「右手にスコップ・左手に缶ビール」
「議論よりアクション」でまちを創る!

